

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立津谷中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒986-0731
宮城県気仙沼市本吉町津谷桜子2番地

E-mail : tsuya-chu@kesenuma.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 69名 女子 67名 合計 139名
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

職名：教諭

氏名：佐々木 伸 (男)

E-mail : tsuya-chu@kesenuma.ed.jp

※学校の共用メールアドレスをご記入ください。共用メールアドレスがない場合、個人メールアドレスでも可。

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

① 活動の概要

津谷地区では、無形民俗文化財（市指定）の山田大名行列や大小様々な打ち囃子など、地域住民による伝統文化の継承・保存活動があり、各種祭りの実施等で地域コミュニティを活性化してきた。しかし、地域社会の過疎化、高齢化が進み、継承断絶の危機が大きな課題になっていた。このことを受け、持続可能な地域社会を考え、若手継承者の育成に取り組む視点から下川内けんばやし保存会と協働で伝統芸能伝承活動「御岳太鼓」の実践を柱にして行ってきた。

② 活動プログラム（総合的な学習の時間「向が丘楽習」）

平成25年度も、生涯学習の基礎を培うための地域人材を生かした協働実践を継続しながら、生徒のコミュニケーション能力や表現力、地域に貢献しようとする態度を養わせるねらいで、総合的な学習の時間「向が丘楽習」において、第1学年で地域を知る探求活動、第2学年で地域の人々とかかわる活動、第3学年で地域社会に貢献する活動に取り組んだ。

年	第1学年	第2学年	第3学年
主な活動例	<p>地域調べ「ディスカバーTSUYA」</p> <p>地域の教育力を活用して、探求型の地域調査を実践し、ふるさとのよさや課題を見つけさせ、課題解決策を検討させながら、他者と伝え合うコミュニケーション能力や態度等を養っている。</p>  <p>文化財保護委員大内氏の講話「津谷地区の歴史」</p>	<p>伝統芸能「御岳太鼓」①</p> <p>下川内けんばやし保存会や3年生から、太鼓のリズムや振り、ばちさばき、笛の技術指導を受け、継承の大切さや課題を検討しながら体育祭やまんぼうサンバ大会で披露している。</p>  <p>下川内けんばやし保存会と3年生による継承指導の様子</p>	<p>伝統芸能「御岳太鼓」②</p> <p>下川内けんばやし保存会とともに後輩への継承指導にあたりつつ、継承の大切さや課題等について相互に伝えたり、体育祭や文化祭、地域イベントや福祉施設への慰問披露等で地域貢献している。</p>  <p>下川内けんばやし保存会と2年生への継承指導実践の様子</p>

③ 実践の成果

ア) プログラムや活動の改善の視点から

地域の切実な課題を取り上げ、実践を伴う課題解決に取り組ませ、要所に地域人材を活用して専門知識を得ると、生徒の興味・関心を喚起するだけでなく、探求活動に深まりと行動力を伸長できることを確認できた。

イ) 児童生徒の変容（資質・能力、態度）の視点から

地域の教育力「ひと・こと・もの」を活用した実践とプレゼンテーション発表を含む表現の場を教科でも設定したことで、個々のコミュニケーション能力や表現力を養えた。

ウ) 教師や保護者、地域住民の意識の変容の視点から

地域で発表する場（まんぼうサンバやもとよしふるさと学習会等）を増やしたことで、保護者や地域住民から良い評価をしてもらったことで、生徒の励みになり、成就感、満足感を得ることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）

